

## 県外派遣報告書

審判員名	山岸 大輔	所属	高体連	
大会名	平成25年度 男性関東講習			
期間	平成25年7月6日(土)・7日(日)			
会場	富士北麓公園体育館(山梨県富士吉田市)			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
7月6日(土)	ルールテスト・実技	富士北麓公園体育館		
7月7日(日)	フィットネステスト	富士北麓公園体育館		
会議 講義 内容				
<p>審査委員長の小林哲夫氏からは、チャレンジして頑張ってもらいたいということ、関東協会審判長の安西郷史氏からは、A級は、良くてAA級のフエ、悪くてもA級のフエを、とありました。</p>				
実技				
担当試合	期 日	7月6日(土)	男子 女子	男子
	対戦カード	都留文科大学 VS 埼玉県立いずみ高校	(主審)	副審
	相手審判	山岡 忠(神奈川)		
ミーティング内容		主任 佐藤 誠(千葉)		
<p>2人の協力について、具体的なケースを挙げて指導いただきました。具体的には、①リードが支柱を越えて見に来たときのトレイルの協力の仕方、また逆サイドへと飛ばされることが多かった中、リードが頻繁に支柱を越えて来る必要があったか、それによってリードの見方が悪くなることになかったか。②ゾーンディフェンスに対して、場合によってはコートを半分に割って、それぞれ分担する見方もある。③判定の際にはコンタクトに100%の注意をそそがず、相手審判の位置も確認できるように。また、プレゼンテーションについても指導いただき、改めて大切にしなければならぬと感じました。</p>				
全体の感想				
<p>今までA級を目指す上で、最も大切してきたことは「位置取り(いかにプレーを先取りして良い位置で、ファウルを鳴らす、またはノーファウルであることを確認するか、どの位置にいればプレーを長く見ることができるのか、など)」でしたが、今回はそれに加え、「2人の協力(パートナーがどこにいるか、どこを見ているかで自分の位置取りや見方を変えていく)」が自分や他のゲームの反省でよく聞かれました。日頃の実践がそのままこういった場面でも出るものです。今後も日頃の1試合1試合を大切に頑張りたいと思います。また、今回、埼玉県の代表として派遣していただきました。多くの方々の支えがあって自分があることを再確認しました。結果は望ましい形ではありませんでしたが、この経験を県内に還元していきたいと思います。山梨県の方々には大変お世話になりました。</p>				